

プログラム 3月4日(土)

開会の辞

(12:00 ~ 12:05)

水落 建輝 (久留米大学医学部小児科学講座 准教授)

ランチョンセミナー 1

(12:05 ~ 13:05)

座長：水落 建輝 (久留米大学医学部小児科学講座 准教授)

UC 治療において局所製剤を再考する

中村 志郎

大阪医科薬科大学第二内科 専門教授

共催：杏林製薬株式会社

休憩

(13:05 ~ 13:15)

セッション1 「症例報告」

(13:15 ~ 14:15)

座長：高木 祐吾 (熊本赤十字病院こども医療センター 小児科)

1. Mosaic Turner 症候群 (TS) に合併した小腸型 Crohn 病 (CD) の1例

遠藤 佳子 (順天堂大学 小児科)

2. ロタウイルスワクチン接種後に炎症性腸疾患様の臨床症状をきたした3か月女児例

光安 幸奈 (福岡市立こども病院 総合診療科)

3. トリオ全エクソーム解析を行った超早期発症炎症性腸疾患 (VEO-IBD) の女児例

柳 貴文 (長崎大学病院/医歯薬学総合研究科 小児科)

4. 生物学的製剤の効果減弱に対して栄養療法による再寛解導入が有効であった小児クローン病の1例

西澤 拓哉 (群馬大学医学部附属病院 小児科)

5. 成長ホルモン補充療法中の腹部症状から診断された高度な回盲部狭窄を伴う小児 Crohn 病の一例

松尾 逸平 (独立行政法人国立病院機構 福山医療センター 小児科)

6. 幼少期にクローン病と診断されたが17歳時の遺伝子検査で慢性肉芽腫症が判明した1例

川上 雄平 (高知大学医学部 小児思春期医学)

7. タクロリムスの寛解導入後にウステキヌマブの使用を選択した小児重症潰瘍性大腸炎の一例

石原 正行 (高知大学医学部 小児思春期医学)

8. A20ハプロ不全症に合併する炎症性腸疾患3例の臨床的特徴に関する検討

大植 啓史（京都大学医学部附属病院 小児科）

9. 特徴的な内視鏡所見（leopard sign）を呈したX連鎖慢性肉芽腫症関連腸炎の2例

中村 陽（鹿児島大学 小児科）

10. 当院における小児炎症性腸疾患症例の総括と検討

近藤 淳（神戸大学医学部附属病院 小児科）

11. 小児における大腸内視鏡検査の重要性

森田 俊（久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門）

12. The simplified PIBD-classes criteria の有用性と小児分類不能型炎症性腸疾患についての検討

三浦 義一（地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 消化器・内分泌科）

13. 潰瘍性大腸炎からクローン病への診断変更例の臨床的特徴

阿部 直紀（あいち小児保健医療総合センター 感染免疫科）

休憩

(15:05 ~ 15:10)

セッション3 「生物学的製剤」

(15:10 ~ 16:10)

座長：萩原 真一郎（大阪母子医療センター 消化器・内分泌科）

14. 当院の小児IBDにおけるベドリズマブとウステキヌマブの使用状況

笹栗 誠（久留米大学医学部 小児科）

15. 当科における小児IBD患児へのウステキヌマブの投与経験

久能 宣昭（福岡大学病院 消化器内科）

16. ベドリズマブを導入した潰瘍性大腸炎の7例

酒井 敦（千葉県こども病院 小児救急総合診療科）

17. 小児潰瘍性大腸炎に対する生物学的製剤の第一選択薬としてのベドリズマブの有効性と課題

垣内 俊彦（佐賀大学医学部 小児科）

18. 小児炎症性腸疾患における各種生物学的製剤の継続使用率

南部 隆亮（埼玉県立小児医療センター 消化器・肝臓科）

19. 難治性潰瘍性大腸炎に対して顆粒球吸着療法と生物学的製剤の併用が有効であった2症例

福田 明子（大阪大学大学院医学系研究科 小児科学）

20. ウステキヌマブとベドリズマブによるDual Biologic Therapyが有効であったCrohn病の1例

吉田 正司（埼玉県立小児医療センター 消化器・肝臓科）

休憩

(16:10～16:20)

イブニングセミナー

(16:20～17:20)

座長：新井 勝大（国立成育医療研究センター 小児内科系専門診療部 消化器科 診療部長）

小児難治性 IBD の治療戦略 ～生物学的製剤／低分子化合物の現状と課題～

南部 隆亮

埼玉県立小児医療センター 消化器・肝臓科 医長

共催：田辺三菱製薬株式会社

プログラム 3月5日(日)

モーニングセミナー

(8:00～9:00)

座長：井上 幹大（藤田医科大学小児外科 准教授）

基礎研究からみた GLP-2 の可能性

演者1 加治 建

久留米大学医学部 外科学講座小児外科部門 主任教授

短腸症候群の問題点とレベスティブに対する期待

演者2 上小鶴 孝二

兵庫医科大学 消化器内科学講座、IBD センター 兼務 助教

共催：武田薬品工業株式会社

休憩

(9:00～9:05)

セッション4 「外科」

(9:05～9:50)

座長：内田 恵一（三重県立総合医療センター 小児外科）

21. 壊死性腸炎術後に diversion colitis が疑われた3例

林田 真（福岡市立こども病院 小児外科）

22. クロウン病に合併した痔瘻に対する外科的治療

直江 篤樹（藤田医科大学医学部 小児外科学講座）

23. 腸間膜への穿通を伴ったクロウン病に対する単孔式腹腔鏡補助下回盲部切除術

安井 稔博（藤田医科大学 小児外科）

24. 小児潰瘍性大腸炎患児における術前内科的治療が術後合併症に与える影響についての検討

小池 勇樹（三重大学医学部附属病院 消化管小児外科）

25. 超早期発症潰瘍性大腸炎（VEO-UC）に対する大腸全摘後の中期予後

齋藤 武（千葉県こども病院 小児外科）

セッション5 「多施設研究」

(9:50～10:50)

座長：工藤 孝広（順天堂大学 小児科）

26. IL10RA 欠損症に対する造血細胞移植

友政 弾（東京医科歯科大学発生発達病態学分野）

27. 小児炎症性腸疾患におけるレミチェックQ®を用いた血中インフリキシマブトラフ濃度の検討： 多施設共同研究

萩原 真一郎（大阪母子医療センター 消化器・内分泌科）

28. 小児炎症性腸疾患の活動性評価における血清 LRG と血清カルプロテクチンの有用性の比較：
多施設共同研究

安田 亮輔（久留米大学 小児科）

29. 小児潰瘍性大腸炎の診断における Integrin α v β 6 自己抗体の有用性に関する多施設共同研究

日衛嶋 栄太郎（京都大学 小児科）

30. 小児クローン病患者に対する診断後早期の治療内容：小児 IBD レジストリ解析

石毛 崇（群馬大学医学部 小児科）

31. 小児クローン病患者における生物学的製剤の継続率の比較（日本小児 IBD レジストリ研究）

西田 大恭（横浜国立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター）

32. 日本小児 IBD レジストリにおける小児期発症 IBD 患者における成長障害の検討

清水 泰岳（国立成育医療研究センター 消化器科／小児 IBD センター）

休憩

(10:50 ~ 10:55)

特別講演

(10:55 ~ 11:55)

座長：水落 建輝（久留米大学医学部小児科学講座 准教授）

患者さんが教えてくれる腸管免疫の基礎から謎

溝口 充志

久留米大学免疫学講座 主任教授

休憩

(11:55 ~ 12:05)

ランチョンセミナー 2

(12:05 ~ 13:05)

座長：清水 俊明（順天堂大学小児科 主任教授）

成人 IBD 診療アップデート

平岡 佐規子

岡山大学病院 炎症性腸疾患センター センター長／准教授

共催：アッヴィ合同会社

休憩

(13:05 ~ 13:15)

- ・事務局報告
- ・トラベルグラント報告 座長：熊谷 秀規（自治医科大学 小児科学）
PIBD2022参加報告：西澤 拓哉（群馬大学医学部附属病院 小児科）
- ・優秀演題賞表彰式（13:15～13:35）

休憩（13:35～13:40）

セッション6 「基礎・臨床研究」（13:40～14:25）

座長：日衛嶋 栄太郎（京都大学医学部附属病院 小児科）

- 33. 初発時治療前の小児潰瘍性大腸炎における末梢血免疫表現型解析
森田 篤志（筑波大学附属病院 小児科）
- 34. 内視鏡的寛解における便中カルプロテクチン値の検討
難波 昂宏（大阪医科薬科大学病院 小児科）
- 35. 血清抗組織トランスグルタミナーゼ IgA 抗体を用いた日本人小児の炎症性腸疾患におけるセリアック病の合併に関する検討
倉沢 伸吾（信州大学医学部 小児医学教室）
- 36. 小児・若年成人における炎症性腸疾患と再生不良性貧血・骨髓異形成症候群の合併例の検討
屋宜 孟（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター）
- 37. リンパ濾胞過形成を伴う好酸球性消化管疾患の発症に関与する新規 STAT6機能獲得型変異
竹内 一朗（国立成育医療研究センター消化器科・小児炎症性腸疾患センター）

セッション7 「合併症・心理」（14:25～15:25）

座長：橋本 邦生（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 小児科）

- 38. 当院における小児 IBD の腎泌尿器合併症
杉野 嘉彦（熊本赤十字病院 こども医療センター 小児科）
- 39. 炎症性腸疾患に合併した尿路結石症における検討
福嶋 健志（順天堂大学 小児科）
- 40. 広範囲の深部静脈血栓塞栓症を合併した小児潰瘍性大腸炎の1例
成重 勇太（宮城県立こども病院 総合診療科・消化器科）
- 41. メサラジンによる薬剤性心筋炎の12歳男児例
小西 亮（京都第二赤十字病院 小児科）
- 42. 侵襲性肺アスペルギルス症を合併した小児潰瘍性大腸炎の1例
星 雄介（宮城県立こども病院 消化器科）

43. 家族介護者の関わりが小児 IBD 患者の精神的健康に及ぼす影響

森谷 菜々絵（東北大学大学院教育学研究科 臨床心理学コース）

44. 超早期発症型炎症性腸疾患の 5 幼児例における両親のメンタルヘルスと QOL の検討

野村 智実（国立成育医療研究センター 消化器科）

休憩

(15:25 ~ 15:30)

教育講演

(15:30 ~ 16:00)

座長：虻川 大樹（宮城県立こども病院 総合診療科・消化器科）

小児 IBD 診療医が知っておくべき予防接種の注意点

石毛 崇

群馬大学医学部 小児科

次回会長挨拶

(16:00 ~ 16:05)

岩間 達（埼玉県立小児医療センター 消化器肝臓科）

閉会の辞

(16:05 ~ 16:10)

水落 建輝（久留米大学医学部小児科学講座）